

副専攻名 地域プランニング					
副専攻のCP(カリキュラム編成方針)					
地域が持つ固有の環境特性を把握し、その地域の人口や産業、歴史、伝統、文化などの資源を発掘して地域を活性化するために役立て、住民参加を通じて地域の将来ビジョンを立案する方法を学ぶ。					
副専攻の学習成果					
地域が持つ固有の環境特性を理解し、その地域の人口や産業、歴史、伝統、文化などの資源を生かしながら、住民と協同して地域の将来ビジョンを立案する手法を身につける。					
副専攻を構成する科目					
科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
15018	地域プランニング論Ⅰ	・地域をプランニングするとは何かを理解すること。 ・地域の将来ビジョンを描く主体は誰なのかについて理解すること。	1		1
15019	地域プランニング論Ⅱ	・地域ビジョンの策定にとって重要な観点は何か理解すること。 ・地域の人口動態と人口特性について理解すること。	1		1
15007	生涯学習論	人は、生きがいや楽しみ、健康、自己実現あるいは職業上の知識や技術を身につけるために様々な学習活動を生涯にわたり行っている。「学び」は、昨日と違う今日の自分、今日と違う明日の自分づくりという側面をもっている。このような生涯にわたる学習活動としての「生涯学習」について学ぶ。	1		2
35286	地域情報学Ⅰ	ユビキタス社会を支える情報基盤技術をハードおよびソフトの両面から理解し、地域での情報化について学ぶ。	1		1
35287	地域情報学Ⅱ		1		1
35248	地域学概論Ⅰ	地域学の目的や構成、地域に対するアプローチを初めとして、地域や空間、環境に対する見方・考え方や、成果・課題を理解すること。	2	1	
35249	地域学概論Ⅱ		2	1	
35250	地域計画論Ⅰ	・日本と世界の地域開発政策や国土開発政策の趨勢を学ぶ。 ・地域計画が策定された当時の地域間格差など経済状況と計画の目標とを関連させて理解する俯瞰的な視点を獲得させる。 ・計画目標と現実との乖離を批判的に検討する視点を養う。	2	1	
35251	地域計画論Ⅱ		2	1	
35252	住環境論Ⅰ	・生活者の視点の重要性を理解する。 ・住環境、まちづくりについての基礎的知識を習得する。 ・住居をとりまく地域や都市にいたるさまざまなレベルにおける住環境の現状と問題点を理解する。	2	1	
35253	住環境論Ⅱ		2	1	
35254	地域文化論Ⅰ	文化人類学の視点から見た地域文化のあり方を、具体的事例検討を通じて把握する。	2	1	
35255	地域文化論Ⅱ		2	1	
35256	地域地理学Ⅰ	自明視されがちな「伝統」や「文化」が成立する背景や、近代における産業の動態を理解し、まちづくりなどを進める一歩前に用意すべき「地域の履歴書」を作成する視点を習得する。	2		1
35257	地域地理学Ⅱ		2		1
35258	人口地理学Ⅰ	・人口減少社会に突入した日本の人口問題について理解する。 ・都市や農村などそれぞれの地域が抱える人口問題の特性について理解する。	2		1
35259	人口地理学Ⅱ		2		1

35206	都市地理学A	都市地理学という学問分野の特徴、空間(や地域、環境)としての都市の概念、都市空間に対する様々な研究方法とその成果や課題を理解する。	2		2
35260	農村地理学 I	農村地理学の基礎的知識を習得し、農村における生業や産業、慣習などの具体的な社会経済的現象を、「空間」および「スケール」という概念をキーに総合的・系統的に理解する能力を身につける。	2	1	
35261	農村地理学 II		2	1	
35262	住生活学 I	・住生活学についての基礎的知識を習得する。 ・住生活と住空間の相互関係について理解する。 ・現代の住生活問題を生活者の視点から理解し、問題解決のための考察力と住居観を身につける。	2		1
35263	住生活学 II		2		1
35264	観光論 I	観光を人間の行う活動の中に位置づけ、その特質を考察するとともに、観光が地域文化の動態にどうかかわるかを理解する。	2~4		1
35265	観光論 II		2~4		1
35266	地域情報支援論 I	情報技術の基礎と地域への普及、および、文系・理系の垣根を越えた意識の養成	2	1	
35267	地域情報支援論 II		2	1	
35268	地域学習論 I	地域の再生、地域課題の解決、活力ある地域づくりなどに向けた地域住民による「地域に関する学習活動」の意義について理解を深める。	2	1	
35269	地域学習論 II		2	1	
35270	地域コミュニティ論 I	東南アジアの少数民族を事例に取り上げ、一般的諸問題を考察する中で、他者のよりより理解を目指す。	2		1
35271	地域コミュニティ論 II		2		1
35221	社会調査論	社会調査の技法に関する具体的な知識を習得することで、既存の調査データの信頼性や妥当性を確認し、データ解釈の誤りを見抜く力をもてるようになる。また、問題の設定から仮説構成、調査票の作成と実施、結果の集計と分析、という一連のプロセスの経験をとおして、社会調査の長所や短所、その社会的な役割について、実践的に身につける。	2		2